



四国クリエイト協会では国土保全、水環境問題、CO²削減など環境を守り循環型社会を形成するため、環境省の低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」や「協働の森づくり事業」の実施、「太陽光発電システム」の導入など、地球環境にかける負担の削減や地球の再生能力の維持を構成する一員として環境保全に取り組んでいます。

■協働の森づくり事業 第12回「栲原交流の森」間伐体験&交流会〈活動報告〉

令和4年10月29日(金)に栲原町川井地区にて3年ぶりとなる間伐体験を(一社)四国クリエイト協会と(株)建設マネジメント四国の合同で開催しました。当会からは木村理事長をはじめ32名、建設マネジメント四国からは54名、高知県、栲原町からもご出席いただき、総勢94名の参加となりました。

当日は天候にも恵まれ、1時間半ほどノコギリを使い下刈りと除伐作業を実施しました。全員で力を合わせて作業をすると見る見るうちに辺りがすっきりときれいになりました。前回3年前に植樹した木々も元気に育っており、目印の名札を頼りに木を探し一緒に記念撮影をしました。今回の除伐作業で太陽の光をたくさん浴びて、ますます元気に木々が育つことを心より祈ります。

間伐体験の後には地元のお母様方が作ってくださったお弁当をいただき、お楽しみ企画として栲原名物じゃんけん大会を開催しました。栲原名産のしいたけやチーズケーキをかけた勝負ということもあり、大いに盛り上がりました。参加者全員には廃材を利用した栲原町の名前の由来であるユスノキの箸造りセットをお土産にしました。

豊かな自然の中でたくさんの方と交流を深めることができ、大変貴重な体験となりました。



▲開会式理事長挨拶



▲除伐作業中。ノコギリは栲原町がご準備くださいました



▲一番大きく育っているケヤキと一緒に記念撮影

■林野庁の「グリーンパートナー2022」になりました

当会がCSR行動憲章で取り組んでいる環境保全活動「協働の森事業」などにより、林野庁の「森林×脱炭素チャレンジ2022」において、カーボンニュートラルの実現に貢献する企業として認められ、「グリーンパートナー2022」となりました。

■環境省の低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fan to Share」に参加しています

- クールビズ、ウォームビズの実施
- 大量の廃棄文書を、裁断処理場に持込み、紙製品へリサイクルしています。(徳島支所)

■「太陽光発電システム」の導入によるCO²削減を実施

- 本支所すべての社屋屋上に太陽光発電システムを設置しCO²削減に取り組んでいます。